

クリスマスに向けて出荷ピーク！ 工夫を凝らした色とりどりのポインセチアが クリスマスを彩ります！

ポインセチアの産出額全国一の愛知県では、クリスマス需要向けにポインセチアの出荷がピークを迎えています。

ポインセチアと言えば真紅のクリスマスカラーでおなじみのポピュラーな鉢花ですが、近年では白色、霜降り、青色、紫色、ラメ入り、名入り、ツリータイプなど、様々なタイプのポインセチアがあり、消費者の好みに合わせて出荷しています。



J A 愛知みなみ鉢物部会に所属する渡会章良さんは、赤・白のスタンダードなポインセチアに加え、ラメ入り、青色、紫色などの様々な色のポインセチアを生産しています。きっかけは約10年前にポインセチアの価格が低迷しており、付加価値をつけられる商品を作ろうとしたことでした。現在では赤・白が6割、その他が4割を占める主力品になってきており、現在は包葉ほうようにグラデーションをつけたものにも挑戦しています。

愛知県の主な産地（令和元年調べ）

田原市（J A 愛知みなみ）	84 百万円
愛西市（J A あいち海部）	49 百万円
江南市（J A 愛知北）	28 百万円
県全体で 313 百万円を産出	
産出額全国 1 位（愛知県園芸農産課調べ）	



挑戦中のグラデーションカラー
今年の出荷も順調です

この件に関するお問い合わせ先

J A 愛知中央会（富永） TEL：052-951-6944
 携帯：080-5291-7543 E-mail：koho@chu.aichi-ja.or.jp